

## 環境マネジメント

▶ 木を科学する

# 自然環境への配慮

エス・バイ・エルでは、資源保護に配慮した計画植林・伐採で人と自然との共生を目指しています。また、木の住まいづくりをすすめることで、CO<sub>2</sub>を固定化、地球温暖化を防止する役割を果たしています。

### ウェアハウザー社の森林管理と計画伐採

森林は樹齢35年～50年で収穫時期を迎えます。同社の全所有林に対する伐採量の割合は、年間換算で2～3%。97%以上の土地で常に木が育成されている状態が維持されています。

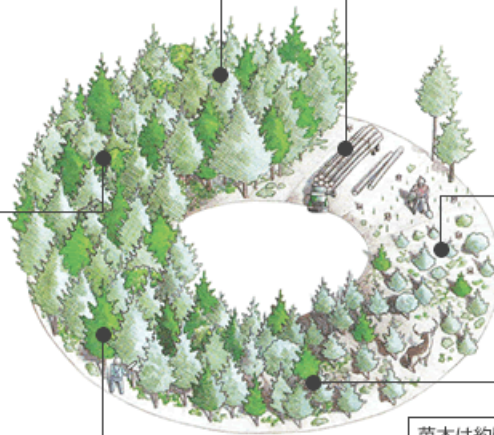
伐採後の枝や切り株は回収せず、有機物質が腐敗して土に還元されるのを待ちます。その方が土壌は侵食されにくく、また鳥や小動物の生息地にもなります。

成長状態に応じて間引きを実施。より多くの日光、水、栄養素がいきわたり、良好な成長が促進されます。

伐採から1年以内に新しい苗木を植林。年間約2億7000万本の苗木を植え続けています。

森林の成長段階にある樹木に数回肥料が与えられます。

苗木は約5年ほどでその地域を覆うまでに成長。10年～15年で若い森林が形成されます。



エス・バイ・エルでは、資源保護に配慮した計画植林・伐採で人と自然の共生を目指しています。また、木の住まいづくりをすすめることで、CO<sub>2</sub>を固定化、地球温暖化を防止する役割を果たしています。

建物資材製造時のCO<sub>2</sub>炭素排出量

